

KUMAMOTO NEWS

～熊本県トピックス～

- SDGs新プログラム ワークブック完成！
- 阿蘇アクセス（豊肥本線8/8開通,R57 10月3日開通済み）
- 進化する防災学習（震災ミュージアム、ワンピース）
（チョッパー、ブルック設置済、11月21日フランキー除幕式決定）
- 熊本城特別公開 第2弾&3弾（4/26天守閣復活！！）
- 阿蘇山 9/1～火口見学再開

1 新学習指導要領対応 SDGs新プログラム



新学習指導要領対応SDGs新プログラム

未来につなぐ水の話～くまもとプロジェクト～

◆概要

「水の国くまもと」での取組みを学び、日本・世界の水問題を考えるプログラム



2020年4月
始動!

◆ストーリー

生きていくために欠かせない「水」。しかし、世界では水不足のため、必要最低限の水が確保できない地域が多数あります。

一方、熊本では約**100万人**もの人が、ミネラル分をたくさん含んだ地下水の恩恵を受け生活しています。かけがえのない地下水を守っていくために、行政・民間企業・団体が様々な取組みを行っています。その取組みを通じて、日本の水資源の保全、そして世界の水問題について考えてみましょう。

◆学習の流れ（案）

事前学習

ワークブック、DVDで熊本の水の成り立ち等を学習

実施

講話 + 現地見学



事後学習

学んだことより地球環境も踏まえまとめる。発表会実施と**熊本県へ提案を!!**

熊本県から学校へ「お礼状」を贈呈



新学習指導要領対応 SDGsプログラム

◆ポイント①

事前学習・事後学習に使える ワークブック

様々な企業、団体の取り組みを紹介していますので、生徒さん自身の キャリア学習 にもつなげることができます。

SDGsのどの項目に該当するか一目瞭然

見本



水に関する活動内容を紹介

企業の代表・担当者から生徒の皆さんへのメッセージ

◆ポイント②

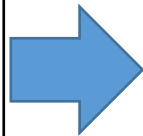
現地見学・豊富な素材

講話+フィールドワークで学びが深まります。

コース (例)

講話 (60~90分)

- ・熊本の地下水の成り立ち、特徴、問題点
- ・企業の取組 等



フィールドワーク (約60~90分)

- ・企業の工場見学や実験
- ・白川水源、水前寺公園、鼻ぐり井手等、水に関するスポット



どんなコースがあるの？

→詳しくは、[熊本県観光連盟](http://www.kumakanren.or.jp)までお問合せください！

kuma-kyoryo@kumakanren.or.jp



新学習指導要領対応 SDGsプログラム

◆ポイント③

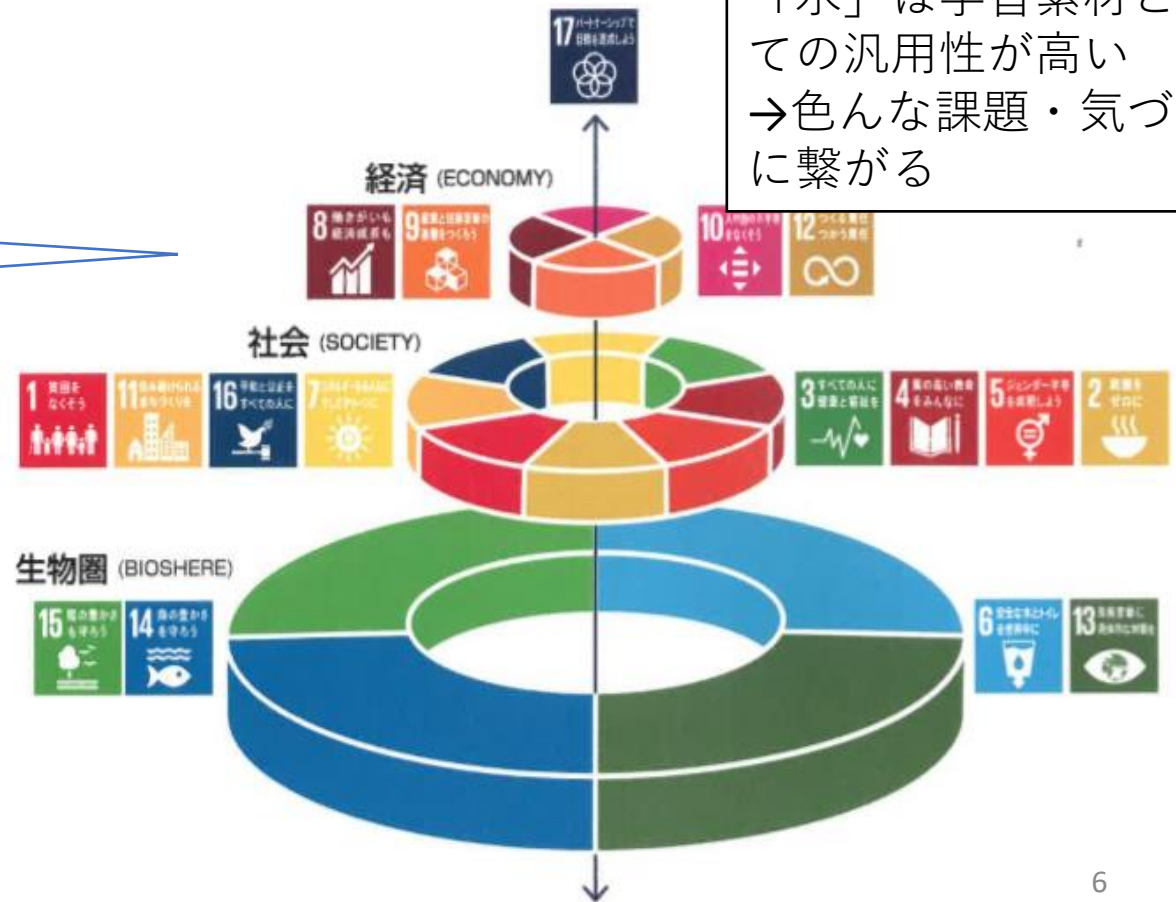
フィードバック

事後学習として、生徒さんが考える改善策・対応策を熊本県に提案してもらうことで、
「自分たちで課題を見つけ、考える」機会を提供します。

企業・団体による地下水涵養・水保全の取組

加藤清正の治水
農林水産業の発展

阿蘇の自然（火山、草原）
→熊本の地下水資源の源



2 阿蘇アクセス改善



阿蘇地域インフラ整備

阿蘇地域へのアクセスマップ (R1.10.15 現在)

- : 全面通行止め区間
- ⊗ : 全面通行止め箇所

2

JR豊肥本線 (肥後大津駅~阿蘇駅)
2020年度 運転再開の見通し

1

国道57号北側復旧ルート
2020年度 開通予定

3

国道325号阿蘇大橋ルート
2020年度 開通予定

熊本地震より通行止めになっていた、路線・道路が開通し、阿蘇へのアクセスが地震以前より便利になります。

- ① JR豊肥本線：8月8日前線開通
- ② 国道57号北側復旧ルート：10月3日開通済み
- ③ 阿蘇大橋ルート：2021年3月開通予定

熊本空港

俵山トンネルルート
9月14日 全線開通

JR熊本駅

今こそ阿蘇で
修学旅行を！



俵山トンネルルート 全線開通式 (R1.9.14)

3 熊本型 防災学習



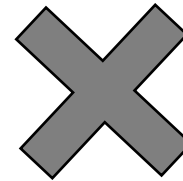
熊本型防災学習

防災・減災学習プログラム



NEW

震災ミュージアム



NEW

ワンピース



→ 「熊本でしかできない防災学習」が始まります

熊本型防災学習

既存の防災学習に、震災ミュージアム（旧東海大阿蘇キャンパス）ワンピース像の見学を組み合わせれば、熊本でしか学べない防災学習を行うことができます。

例
南阿蘇村防災プログラム
「南阿蘇から始まる未来
～明日への懸け橋～」

- 講話(語り部)…………… 40分
- 現地ガイド…………… 40分
(阿蘇大橋、長陽大橋付近、高野台)
※現地を2か所見学する場合の
全体所要時間は120分



講話(語り部)



現地ガイド(阿蘇大橋)

旧東海大学
阿蘇キャンパス
震災ミュージアム見学



ロビン像
見学



阿蘇駅 ウソップ像見学



阿蘇・内牧温泉 泊

半日単位/1日単位で
組み合わせ自由!

熊本型防災学習

■コンセプト

- ・熊本地震の経験や教訓を学び、風化させず確実に後世に伝承する。
- ・今後の大規模自然災害に向けた防災対応の強化を図る。
- ・熊本の自然特性を学び、改めて自然を畏れ、郷土を愛する心を育む。
- ・震災ミュージアムの取組みを通して、国内外からの交流人口の拡大を図り、被災地域、ひいては熊本県の更なる発展につなげる。

■内容

①熊本地震の痕跡が残る震災遺構

- ・旧東海大学阿蘇キャンパス内の震災遺構（旧東海大学阿蘇キャンパスを含め県内58カ所の震災遺構あり）
2020年8月公開開始

②体験・展示施設

- ・熊本地震に関する情報を効果的に発信する体験・展示施設（旧東海大学阿蘇キャンパス内）の整備
2023年度OPEN予定

各地域の拠点

- ・熊本地震に関する情報を地域の視点から発信する拠点を8市町村に整備（順次公開）

旧東海大学阿蘇キャンパス



熊本型防災学習

ワンピース 「麦わらの一味」



タイトル

麦わらの一味「ヒノ国」復興編

ストーリー

- 熊本こと「ヒノ国」に上陸した麦わらの一味は、熊本地震の被害が広範囲に及び、今なお、住民が苦しんでいることを知る。
- そこで、船長ルフィが、一味の仲間たちに被災地の復興の手助けを指示。
- 仲間たちは、それぞれの特技で被災地の困り事を解決し、復興へのエールを送るルフィのもと（県庁）での再会を誓う。



熊本の復興を手助けしたいという熊本県出身の漫画家 尾田栄一郎先生の思いから始まった「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」。2018年には常設では世界初となるルフィ像が県庁に設置。2020年度までに「麦わらの一味」の像が県内各地に8体設置されます。



熊本型防災学習

「なぜこの町にこのキャラクターなのか？」それには、地震により生じたその町の問題が関係しています。

ワンピースを通じて熊本地震を学び、「自分の町ではどんなことが想定されるか？どう備え、どう対応していくか？」考えてみませんか。

熊本市 (動植物園)



地震で獣舎が被災した熊本市動植物園には「船医」のチョッパーが駆けつけます。県外の動物園への避難を余儀なくされた動物たちのケアを行い、来園する子どもたちの笑顔を作り出します。

益城町 (ミナテラス⇒木山地区)



2度の震度7の地震で給食センターが被災した益城町には「コック」のサンジが駆けつけます。地元農産物を使い、美味しく温かい給食を作ることで、町の未来を担う子どもたちの健康と笑顔を作り出します。

阿蘇市 (阿蘇駅前)



住民の誇りである阿蘇の大草原が大きく傷んだ阿蘇市には「狙撃手」のウソップが駆けつけます。緑（自然）の力を操る道具で、草原の再生を手助けし、住民の誇りと笑顔を取り戻します。

御船町 (ふれあい広場)



音楽大学に加え、多くの住宅が被害を受けた御船町には「音楽家」のブルックが駆けつけます。音大生と奏でる復興への応援歌と軽快なジョークで住民の心の復興を後押しし、町の明るい復興を目指します。

熊本型防災学習

2020年度設置（予定）

大津町
(大津中央公園)



ゾロ

子どもたちが稽古に励んだ武道場が被災した大津町には、「戦闘員」のゾロが駆けつけます。剣道が盛んな土地柄を活かして、子どもたちと広場で剣の修業を重ね、地震に負けない町づくりを目指します。

南阿蘇村
(東海大)



ロビン

地震の被害や教訓を後世に伝承する拠点に生まれ変わる東海大学には、「考古学者」のロビンが駆けつけます。南阿蘇村の復興が花開くよう、歴史の語り部として研究を重ね、記憶と教訓を語り継ぐ手助けを行います。

西原村
(俵山交流館 萌の里)



ナミ

集落単位で被害を受け、コミュニティの再建が課題である西原村には、「航海士」のナミが駆けつけます。ココヤシ村での経験を重ねながら、被災した村のシンボルの風車と全集落の復興に応援の風を送り続けます。

高森町
(高森駅前)



フランキー

11月21日（土）除幕式

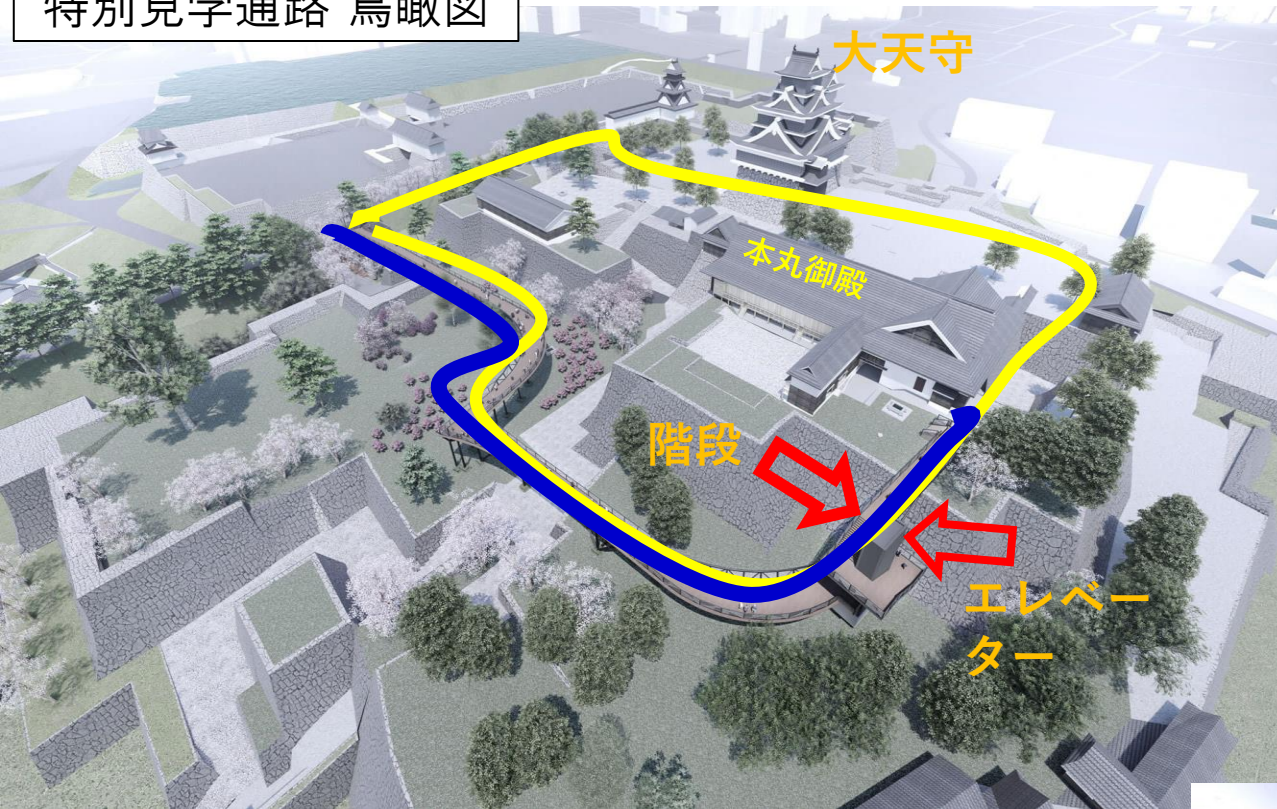
通学・通院の足である南阿蘇鉄道が寸断された高森町には、「船大工」のフランキーが駆けつけます。被災地域の希望となるべく、鉄道の始発駅で全線再開への金槌を鳴らします。

4 熊本城 特別公開



熊本城 特別公開 第二弾

特別見学通路 鳥瞰図



2020年



6月1日OPEN

特別見学通路完成

熊本地震以来立ち入りが制限されていましたが、特別見学通路を利用して、平日でも大天守を間近に見学できるようになります。

※日・祝日はぐるっと周遊できます！（黄色線）



熊本城ミュージアム「わくわく座」の見学や、わくわく座を貸切にして行う防災学習とセットで、もっと深い学習ができます。

完成イメージ



熊本城 特別公開 第三弾

2021年4月26日OPEN

天守閣完全復旧・内部公開

天守閣全体の復旧が完了し、天守閣の内部まで入れるようになります。



大天守からの展望



熊本城天守軸組模型



4 阿蘇山火口見学



阿蘇山火口見学

2020年9月1日撮影



9月1日～見学再開

阿蘇中岳の火口周辺情報の規制が1年4カ月ぶりに解除され、火口の見学が可能になりました



2018年10月撮影

<http://www.aso.ne.jp/~volcano/>



最新の規制情報は
こちらから
御確認下さい！

5 人吉情報



教育旅行防災プログラム 2020年10月28日

東京の高等学校の生徒さん54名が7月の豪雨災害の被災者から話を聞くなど防災学習による修学旅行の受け入れ実施。



人吉の隣まち、錦町に熊本でできる体験平和学習施設「にしきひみつ基地ミュージアム」

現在、人吉の旅館・ホテル、ラフティング、球磨川下りは再オープンを目指し復旧活動中です。皆さまの温かい応援をよろしくお願ひいたします。

2021年春新館完成！



大型学習室完備
展示も倍の面積に。
赤とんぼ実物大模型登場

人吉の情報は

一般社団法人 人吉温泉観光協会

TEL/FAX：0966-22-1370

<https://hitoyoshionsen.net/>

熊本県の教育旅行に関することは 「熊本型教育旅行」HPにて情報発信！



熊本型教育旅行 **Q**
<http://kumanago.jp/shugaku/>

データのご提供もできます！！

- 熊本地震から学ぶ教育旅行リーフレットvol.04
- 熊本地震から学ぶ教育旅行 防災・減災プログラム企画書 (A4横サイズPP作成分)
- 熊本県教育旅行誘客DVD「修学旅行で阿蘇山に行こう」

上記のデータご希望の方はメールにてお送りさせていただきますので、
kuma-kyoryo@kumakanren.or.jpへご連絡下さい。

(公社) 熊本県観光連盟
〒862-0950 熊本市中央区水前寺6-5-19
TEL.096-382-2660 FAX.096-382-2663

熊本県 観光戦略部 観光振興課 国内観光班
〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
TEL.096-333-2335 FAX.096-385-7077